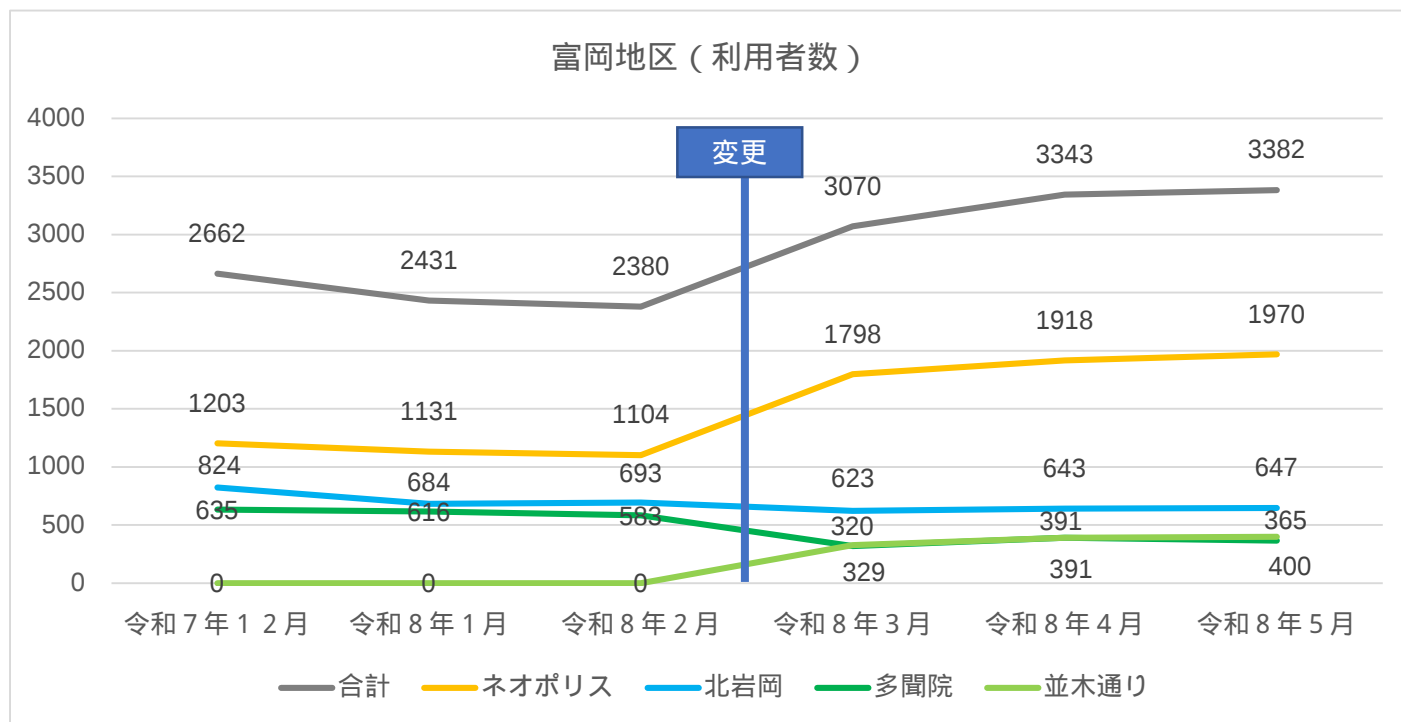


ところワゴンの運行状況（6 か月）について（報告）

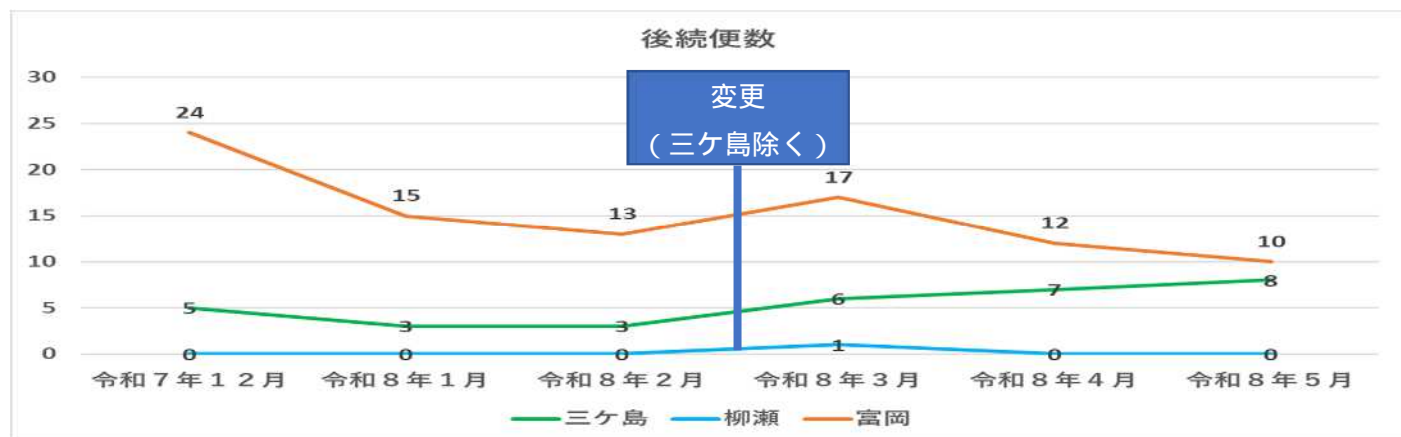
【ところワゴン直近 6 ヶ月の推移】

1．富岡地区



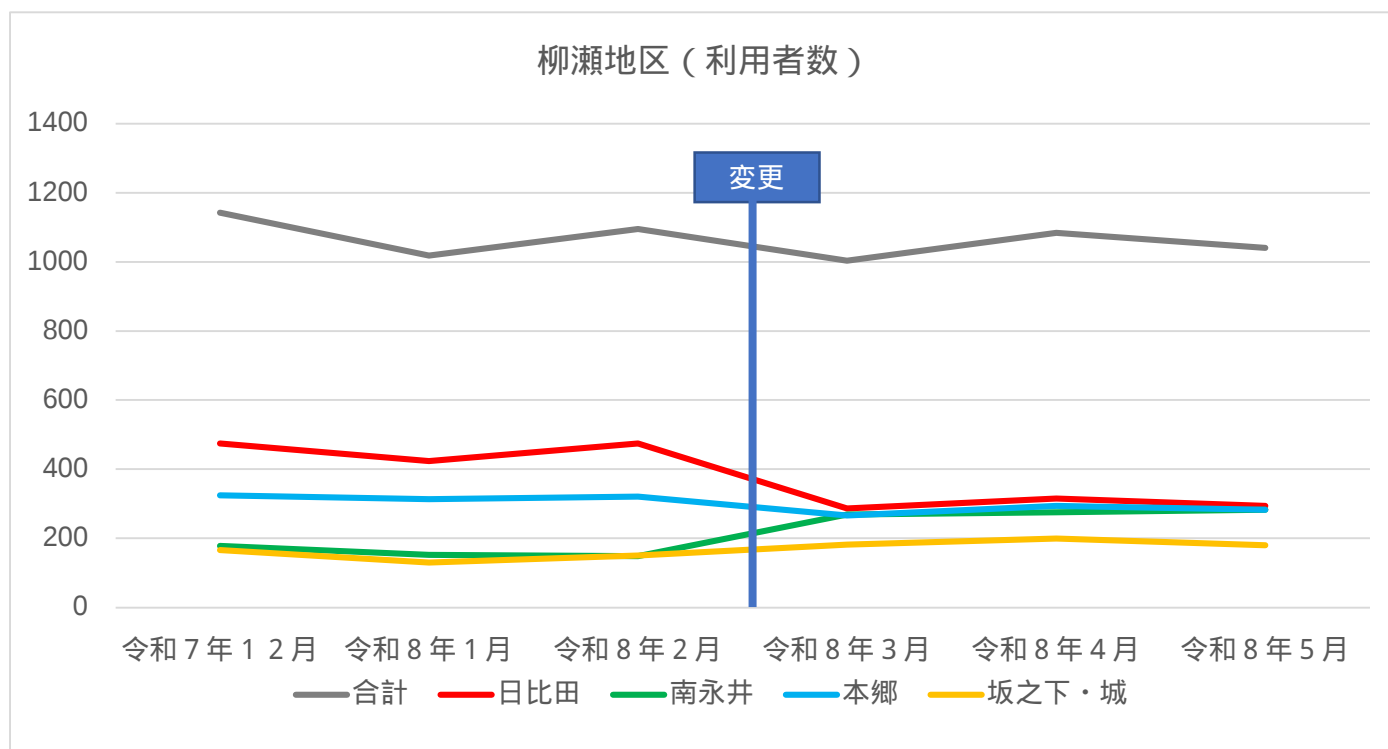
- ・ 3 月改正以後、増便により利用者は増えてきています。
- ・ 3 月改正以後、8 便から 12 便に増便したネオポリスルートで利用者がえています。

2．後続便



- ・ 富岡地区の後続便について、3 月は増加しましたが、その後減少傾向にあります。3 月改正以後、後続便を減らすことを目標にしていたが、まだ判断材料としては実績に乏しいので、今後も状況を注視していきます。
- ・ 三ヶ島地区については、後続便の数が令和 8 年 5 月で富岡地区と近い数になってきています。三ヶ島地区では、10 月の変更で後続便が減るようなルート、ダイヤに変更しているため、今後、後続便の減少が予想されます。

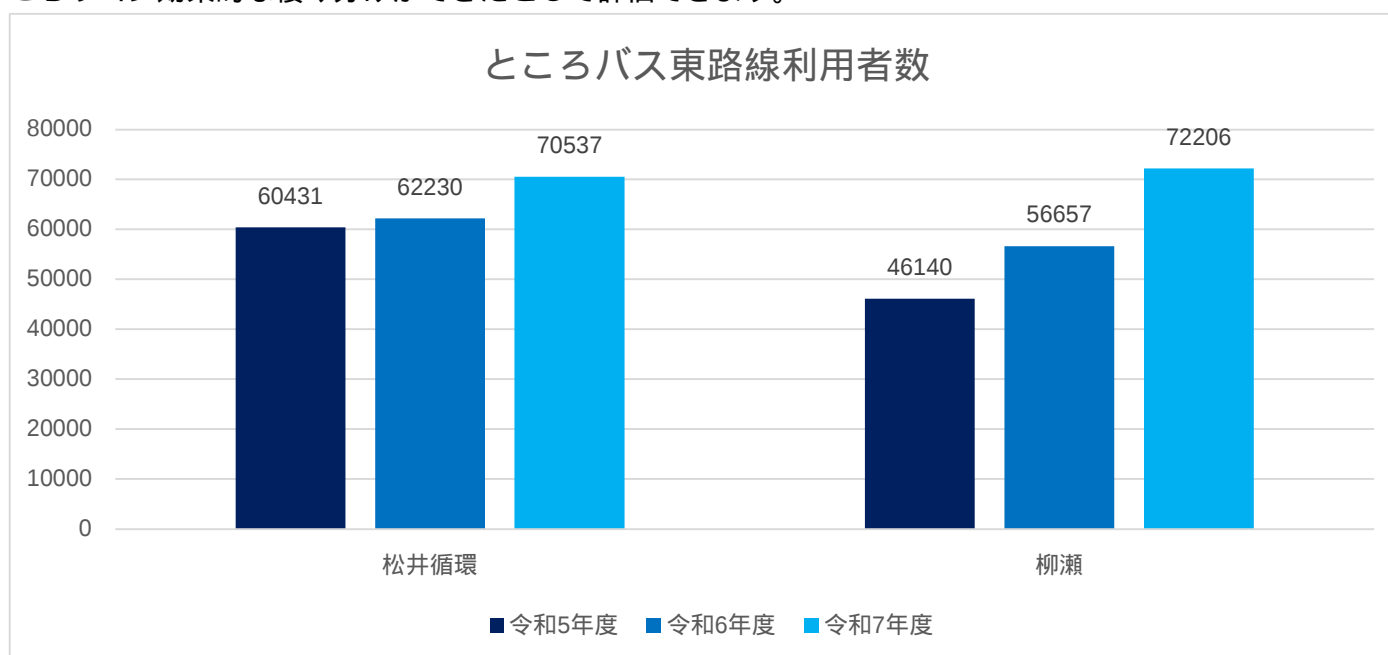
3 . 柳瀬地区



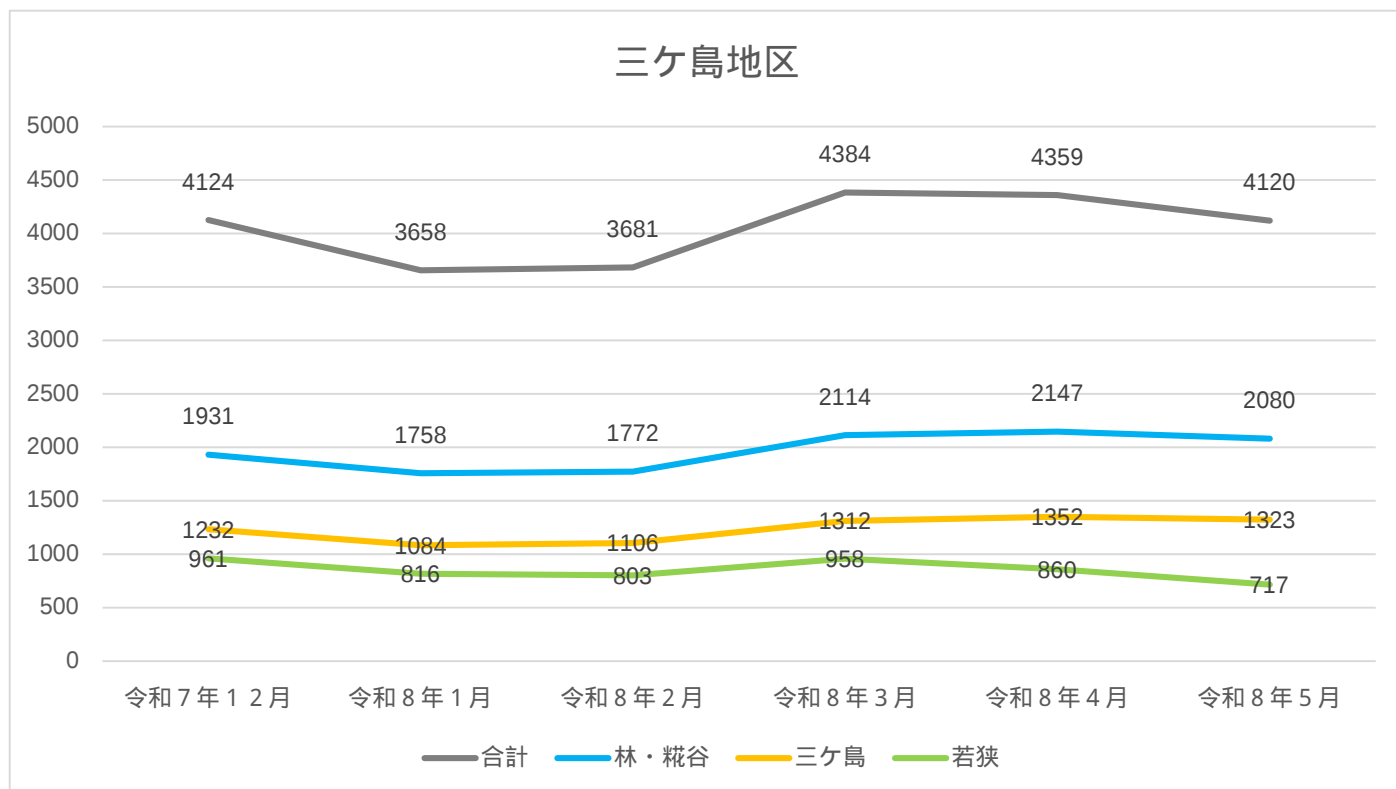
- ・地区全体で1日23便から、1日16便へ減便したが、地区全体で利用者に大きな変動はなかったため、効率的に運行できています。
- ・日比田ルートは便数が8便から4便に減ったことにより利用者が減少しています。一方で、南永井ルートにエステシティ中央停留所を追加したことで、南永井ルートの利用者が増えています。

（参考）

三ヶ島地区、富岡地区はところバスからところワゴンへと移行した地域に対して、柳瀬地区は、市街地はところバス、郊外はところワゴンに役割を分けた地域になります。ところバス東路線、特に柳瀬コースは運行距離を短縮して、増便した結果、利用者が増えてきています。地区全体でみると、ところバス・ところワゴン効果的な棲み分けができたとして評価できます。



4 . 三ヶ島地区



- ・ 三ヶ島地区は運行日日数の違い、季節性の増減はあるものの、どのルートも利用者が安定しています。